

平成29年度

# 白井市市民団体活動支援補助金 公開成果報告会

平成30年6月5日(火)14時～16時30分

会場:しろい市民まちづくりサポートセンター多目的スペース

1. 開会
2. 市長挨拶
3. 趣旨・進行説明
4. 補助金交付団体からの成果報告(発表10分+質疑5分)

順番	時間 (予定)	補助金タイプ	団体名[事業名]	頁
1	14時10分	活動促進型	ステップ [学習支援]	1～3
2	14時25分	活動促進型	特定非営利活動法人まんぷく食堂 [子どもに食事を提供する事業]	4～11
3	14時40分	活動促進型	ふじ元気ひろば [ふじ元気ひろば]	12～20
4	14時55分	活動促進型	ユーカリアンサンプル [生き生き暮らすためのお手伝い～音楽ボランティアを通して～]	21～23
休憩 15時10分～15時30分				
5	15時30分	活動促進型	NPO法人白井助け合いネット [ふれあいサロン事業]	24～36
6	15時45分	活動発展型	特定非営利活動法人しろい環境塾 [四季の花・植物で里地里山を彩る市民活動による環境保全]	37～40
7	16時	活動発展型	ときめきマルシェプロジェクト [ときめきマルシェ]	41～44

5. 講評 市民活動推進委員会 委員長 関口宏聡  
(特定非営利活動法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 代表理事)
6. お知らせ
7. 閉会

# 1

団体名	ステップ		
事業名	学習支援		
事業概要	主に子供の貧困対策としての学習支援		
補助事業費 総額	148,968円	補助申請額	70,000円

平成29年度市民団体活動支援補助金公開成果報告会

(1) 事業目的

①実施の理由・背景

比較的豊かな地域といわれる白井市でも、経済格差が広がっていると感じる。経済的な理由で塾に行けない、落ち着いて家庭学習に取り組むことが困難などの理由で基礎学力が定着していない子どもが存在する。また、学習支援を希望する家庭が多数存在している。

事業開始に先駆け平成28年の冬休みに白井駅前センターの指定管理者と協働で9日間学習支援の勉強会を開催したところ、参加した生徒・保護者から今後も継続してほしいとの要望が強く、私たちもその必要性を痛感した。

②目標（ねらい・効果）

学習支援をすることにより、自分で学習のつまづきを解決する能力をつけ、個々の学力向上を図るとともに人との繋がりを育み自立心を育てる。

(2) 事業の内容

①具体的内容

時期：平成29年4月から平成30年3月

場所：白井駅前センター、研修室・視聴覚室

対象：市内の中学生

内容：学習指導

方法：少人数及び必要に応じてマンツーマン指導

回数：週2回、水曜日と土曜日、8月は別途日程 年間86回 のべ501人

②実施体制

人数や体制：教員OB、塾指導経験者、語学（英語）堪能者、等、10名

③告知方法

市広報、駅前センターにポスター掲示、教育委員会から要保護・準要保護世帯へ通知で送付

(3) 問題・対応策

不登校生徒に対する指導、市教育委員会との連携

(4) 成果と課題

①受講生が11名で、途中で自ら辞めていった生徒が1名いた。受講生全員が南山中の生徒で1年生が1名、2年生が2名、3年生が8名であった。3年生は全員高校に進学した。

②課題

受講生は近くの場所でやってるから通えるわけで、白井駅前センター以外の所でも開講されたらいいのと思う。

会の運営において、会場費の支出がかなりを占めるのが現状である。

指導者として、大学生にも加わってほしいのだが、残念ながら応募者が一人もい

ないのが現状である。

若者の貧困対策としての学習支援という観点は、文科省が提起しているものであり、白井市が市の事業としてこの問題に取り組むことを強く要望する。

〔参考〕 2017年度会計報告

収入	市の補助金	70000
	会費 10人分	20000
	賛助会費 27口	27000
	駅前センター寄付	31968
	計	148968
支出	会場費	74750
	教科書代	17245
	資料代	999
	事務用品	11602
	会議費	11555
	計	116151
残高		32817

2
---

<b>団体名</b>	特定非営利活動法人まんぷく食堂		
<b>事業名</b>	子どもに食事を提供する事業		
<b>事業概要</b>	子どもの健全育成に寄与することを目的として、経済的理由や共働きの家庭の子どもとその保護者に対して家庭食を提供し、食生活を改善するために食堂を開催する。		
<b>補助事業費 総額</b>	164,600円	<b>補助申請額</b>	70,000円

特定非営利活動法人  
**まんぷく食堂**

(市民団体活動ご報告会)



代表理事 原口さん(右)

特定非営利活動法人まんぷく食堂

設立 平成29年1月16日  
所在地 白井市大山口2丁目8番17号  
代表理事 原口由佳



## まんぷく食堂設立・活動の目的(子ども食堂の運営)

- ひとり親家庭や留守家庭の子供や保護者のために家庭的・低価格の食事を提供
- 運営に当たっては障害者の就労場所とし社会参加の支援に寄与したい

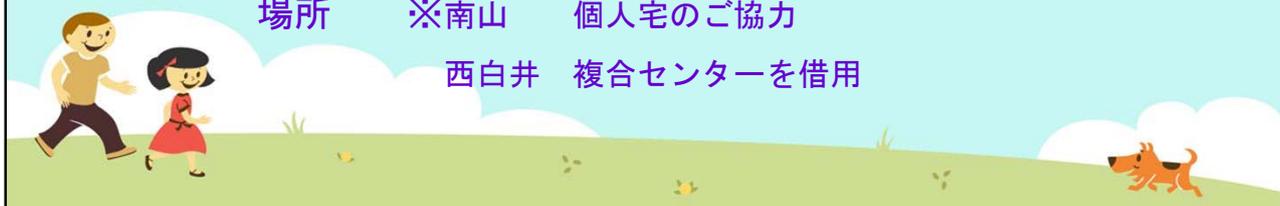
(但し本件は日常継続的な運営が前提で将来目標)



## I.平成29年度の開催実績

開催地	回数	期間	参加者数		
			大人	子供	合計
南山	5	4月～7月	29	81	110
西白井	12	4月～本年3月	149	186	335
<b>合計</b>	<b>17回</b>		<b>178</b>	<b>267</b>	<b>445</b>

場所 ※南山 個人宅のご協力  
西白井 複合センターを借用



## Ⅱ.平成29年度の活動計算書

### 1.経常収益 円)

(単位 :

受取会費	10,000	
受取寄付金	365,300	(2団体 210,000 個人5名 155,300)
受取助成金	70,000	(白井市助成金)
事業収益	76,500	<u>合計 521,800</u>

### 2.経常費用

食材費	63,233	
設備費他	101,517	<u>合計 164,750</u>

### 3.当期経常増減額

差引 357,050



## Ⅲ.まんぷく食堂の運営方法

### 〈事前打合せ〉

開催日: 開店前週の水曜日18時~19時

西白井複合センター

内 容: 料理の決定と参加者概数の確認

食材在庫確認、購入数量、担当の決定

当日の調理担当の割り振り

その他連絡・調整事項

### 〈開店当日〉

開店: 毎月第4火曜日18時~20時

西白井複合センター

集合: 15時30分

内 容: 調理担当割りとは応援スタッフの確認

調理(~17:40まで)

OPEN 18:00~20:00

後片付け 随時~20:30





調理師 高橋さん

## IV.料理の決定・安全衛生管理

### 〈調理師高橋さんのご協力〉

- ・メニューの提案
- ・食材の指示
- ・調理の指導(仕込.味付け.盛付け)
- ・安全衛生指導
  - －検便－
  - －エプロン・料理用手袋・マスク・頭巾－
- ・事故対応
  - －ボランティア行事用保険－

### 〈食材の確保について〉

- ・フードバンクのご協力
- ・市内農家の皆様のご協力
- ・ボランティアセンターのご協力 等



## 運営風景



## 運営風景(調理室)



## 運営風景(メニュー)



## 運営風景(メニュー)



## 現在の運営スタッフの皆さん



## V.今年度の課題と目標

- 1.開店情報を〈本当に必要とする人〉へ
- 2.開店回数を増やしたい！（今年度事業目標、先ず月2回実施へ）  
ー場所・スタッフ・運営資金の確保ー
- 3.広報の努力（HPの開設）  
ースタッフ募集、資金・食材支援のお願いー
- 4.運営資金の確保  
ーイベント（夏祭り等）参加による収益、募金などー



（以上、ありがとうございました）



3
---

団体名	ふじ元気ひろば		
事業名	ふじ元気ひろば		
事業概要	「地域ぐるみネットワークふれあい会議」活動をベースにして子どもから高齢者まで幅広い年齢の方が参加する元気食堂と食育を兼ねた野菜栽培と野外活動		
補助事業費 総額	249,866円	補助申請額	70,000円

## 平成 29 年度事業成果報告

### ふじ元気ひろば

<b>事業名</b>	子供・子育て世帯・高齢者支援交流事業
<b>事業概要</b>	「地域ぐるみネットワークふれあい会議」 活動をベースにして子供から高齢者まで 幅広い年齢のかたが参加する元気食堂と 食育を兼ねた野菜栽培と野外活動
<b>事業内容</b>	「時期」 毎月一回 土日祝日 「場所」 富士地区の畑、白井ふじ保育園 富士センター、愛の家 「対象」 こども、保護者、高齢者 「内容」 畑での野菜栽培、夏のプール遊び ピザ作り、バーベキュー、音楽会 ソバ打ち、もちつき等
<b>実施体制</b>	民生、児童委員・グループホーム愛の家・ 野菜作りボランティア・保育園の保育士、 栄養士、調理師・社会福祉協議会等

## 事業スケジュール

月	事業内容	人数
4	23 (日) 夏野菜の植え付け・種まき 元気食堂 (たけのこ料理)	大人 21名 子供 13名
5	14 (木) さつまいも苗植え 元気食堂 (豚丼)	大人 21名 子供 14名
6	雨天の為7月2日(日)に延期 じゃがいも掘りと元気食堂 (カレーライス)	大人 36名 子供 20名
7	17 (日) プール遊びと流しそうめん かき氷とわたあめ	大人 28名 子供 28名
8	26 (日) そばの植え付け・ピザ作り	大人 17名 子供 25名
9	台風の影響で敬老会が中止	
10	ふるさと祭りと神社祭礼が重なり中止	
11	5 (日) さつまいも掘りとバーベキュー	大人 45名 子供 20名
12	28 (木) グループホーム愛の家で 新そば・年越しそばの会	大人 35名
1	7 (日) 新年もちつき会	大人 31名 子供 24名
2	18 (日) 音楽を聴いて歌って楽しむ会	大人 44名 子供 15名
3	27 (火) じゃがいも苗植え	大人 15名 子供 19名



こいのぼりまつり





苗植えとそばの花





野菜の収穫





サツマイモ掘りとバーベキュー





新そば・年越しそばの会





新年もちつき会



# 4

団体名	ユーカリアンサンブル		
事業名	生き生き暮らすためのお手伝い～音楽ボランティアを通して～		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の人々と音楽を通して交流</li> <li>・ 高齢者施設への定期訪問ボランティア演奏</li> </ul>		
補助事業費 総額	204,222円	補助申請額	70,000円

# ユーカリアンサンブル



♪ 2009年4月 発足

♪ レパートリーは童謡唱歌からクラシックまで多彩

ハモンドキーボードをメインに、ヴァイオリン・フルート・クラリネット

ギター7人からなるアンサンブル

♪ 2013年から「心に残る日本のうた」をテーマに演奏

♪ 毎年恒例秋のコンサートをはじめ、各種の行事、催しに参加

病院・施設・地域のサロン等依頼演奏経験多数

白井市プラネタリウムでの「星空ライブ」や

県立北総花の丘公園のステージでも演奏

ボランティア演奏にも力を入れている

これからも多くの人と音楽の楽しさを分かち合いたい

☆ ホームページ「ユーカリタイム」で活動記録がご覧になれます

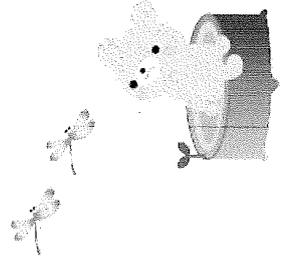
ユーカリ事務局  
047-497-2836  
080-6504-5118

ユーカリアンサンブル演奏の記録

- 4/8 そよ風  
4/23 鎌ヶ谷翔裕園  
4/29 めいと船橋・小室  
5/14 白井の家  
6/11 グループホーム白井富士  
6/17 サクラピア  
7/9 県立北総花の丘公園ステージ  
7/17 そよ風  
8/6 白井の家  
9/2 サクラピア  
9/18 めいと船橋・小室  
9/27 白井脳いきいき教室交流会  
10/29 ユーカリ秋のコンサート  
11/13 やまびこ交流会  
11/25 そよ風  
12/16 ロビーコンサート  
12/20 あいのねサロン  
12/23 サクラピア  
12/25 ふれあい大松・サロン  
1/28 白井の家  
2/10 グループホーム白井富士  
2/28 かしわ安心館  
2/28 サロンほのぼの  
3/3 そよ風  
3/24 鎌ヶ谷翔裕園

やまびこ交流会プログラム 11月13日実施

- ・ユーカリのテーマ (♪マークは皆さんと歌いました)  
・小さい秋見つけた  
・楽器紹介 (ゆりかごのうた)  
♪もみじ  
♪村まつり  
♪青い山脈  
♪リンゴの唄  
・銀色の道  
・海の声 (2CL)  
・星影のワルツ  
♪浜辺の歌  
♪四季の歌  
♪いつでも夢を  
・ここに幸あり  
・川の流れるように  
アンコール  
♪ふるさと



# 5

団体名	NPO法人白井助け合いネット		
事業名	ふれあいサロン事業		
事業概要	社会福祉施設などの利用者及び近隣の住民参加で相互の親睦を深めるため「サロン」を開設する。サロンは少額の参加料で誰もが自由に参加でき飲み物を飲み、おしゃべりをし、一緒に歌い、知らない者同士が知り合う場となり、老いも若きも楽しい輪の広がる場になることを目的とする。		
補助事業費 総額	88,800円	補助申請額	70,000円

# 介護施設ふれあいサロン

白井町老人福祉センター

「白井助け合いネット」の

## 介護施設ふれあいサロン実施ご報告

『さつきの里』・『ウイズホスピタル千葉白井』・『リハモードヴィラ白井』

## NPO法人 白井助け合いネットの目的と事業

定款

(目的)

第3条 白井市の急速な高齢化に備え、市民活動・協働による全市民を対象とした「地域の助け合い(支え合い)活動」を推進し、誰もがその人らしく、住み慣れた地域で暮らせる安心安全なまちづくりに貢献することを目的とする。

(特定非営利活動の種類)

第4条 (1) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動

(2) まちづくりの活動を図る活動

(3) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

第5条 この法人は、その目的を達成するため、特定非営利活動に係る次の事業を行う。

① 地域福祉の増進を図る事業

② 居場所(サロン)の設置、運営に係る支援事業

③ 街づくりの推進を図る事業

④ その他この法人の目的達成のために必要な事業

NPO法人 白井助け合いネット

## NPO法人 白井助け合いネット活動の経緯

1. 設立 平成25年12月

2. 平成26年度活動～平成27年度

(1) 3者会議による市方針との整合を図る。

市福祉計画に沿って具体策の討議を実施。

(市・社会福祉協議会・助け合いネット)

(2) 高齢化率の高い自治会・その他地域へ

の「サロン」設立への働きかけ

3. 平成28年度

(1) 自治会(生活圈)での「サロン」設立が早い動きにならないと判断

(2) 「ネット独自で施設連携型サロン開設」に踏み切る。

NPO法人 白井助け合いネット

## H29年度開催サロン実績

No.	日付	実施場所	参加人数(名)
1	2017/4/21	ウィズホスピタル	37
2	2017/5/27	さつきの里	未カウント
3	2017/6/21	さつきの里	47
4	2017/9/20	さつきの里	19
5	2017/11/4	菊祭りサロン(移動)	未カウント
6	2017/12/14	リハモードヴィラサロン白井	21
7	2017/12/16	富士地区・子育てサロン(移動)	約120
8	2017/12/20	さつきの里	47
9	2018/2/21	さつきの里	38
10	2018/3/17	富士地区・こどもまつり後援(移動)	59

※この場は白井郡付島いネット

## サロン継続の効果過去二年間の経験で得られた効果

1. **お仲間と一緒に**(同伴)・・・誘い合わせての参加：楽しいイベントへの期待
2. **健康への関心が高まる**・・・前向きなとりくみの気持ち  
：締めくくりの梨トレ体操  
みんなで歌う：楽しさの雰囲気・参加意識
3. **折り紙の作業**……………作業の過程で教え・教え合うなどでの仲間意識  
仲良くなる

※この場は白井郡付島いネット

## 参加呼びかけの方法と手段

1. チラシの作成方針 : カラー印刷を原則とする  
イベントなど不特定多数の配布で部数の多いときはモノクロとする
2. 配布地域方法 : 白井市の各公民館、各福祉団体  
開催施設と関連施設  
知人・友人（口コミ）の利用  
開催地域の自治会等への協力依頼

NPO法人 白井助け合いネット

### サロン PART

## さつきの里

どなたでも気軽に参加できる  
楽しい「サロン」です。

オカリナと一緒にみんな  
で歌いましょう！

日時：3月19日（日）  
13:00～15:30

場所：特別養護老人ホーム「さつきの里」

参加費：100円（飲み物代）



～当日の内容～

- ・肺年齢測定
- ・折り紙(リボンの付いた箱)
- ・オカリナと歌おう
- ・介護予防体操 など

主催：NPO法人 白井助け合いネット  
問い合わせ：047-491-1398（寄本）  
047-492-1100（さつきの里）  
047-492-5713（白井市社会福祉協議会）

### サロン

## ウィズホスピタル

気軽に寄れる「サロン」でおしゃべり  
して楽しみませんか？

盛りだくさんのイベントを用意してお待ち  
しています(´0´)/

日時：12月9日（金）  
13:30～16:00

場所：介護付き有料老人ホーム  
ウィズホスピタル千葉白井

参加費：100円（飲み物代）

～当日の内容～

- ・肺年齢の測定
- ・折り紙の花作り
- ・みんなで歌おう
- ・和菓子販売 など



※当日は施設見学もできます！

主催：NPO法人 白井助け合いネット  
問い合わせ：047-491-1398（寄本）  
047-492-5713（白井市社会福祉協議会）  
047-498-1448（ウィズホスピタル千葉白井）

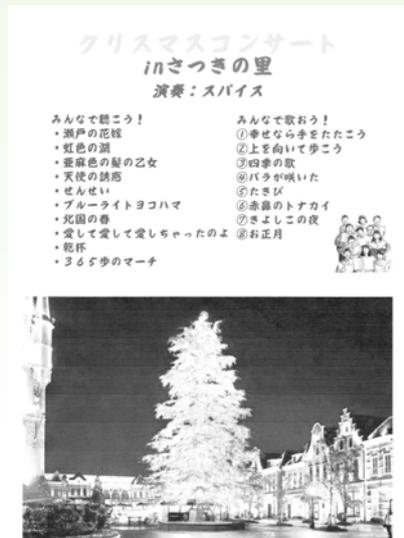
NPO法人 白井助け合いネット

## サロンの内容（タイムスケジュール）

1. 受付開始：13:00～
2. サロン開始：13:30～
3. 折り紙の時間と体調トレーニング：13:50～
4. 音楽の時間：14:30～
5. 頭の体操：15:10～
6. 梨トレ体操：15:20～

※この冊子は白井郡付島いそぎです

## 各サロンの歌の本



※この冊子は白井郡付島いそぎです

### うたの本

うたの本  
ハモディ  
白井

ハーモニカと一緒に  
みんな楽しく大きな声で  
歌いましょう

「サロン」さつきの里

### サロン カイズホスピタル

平成29年4月21日

折り紙の一部

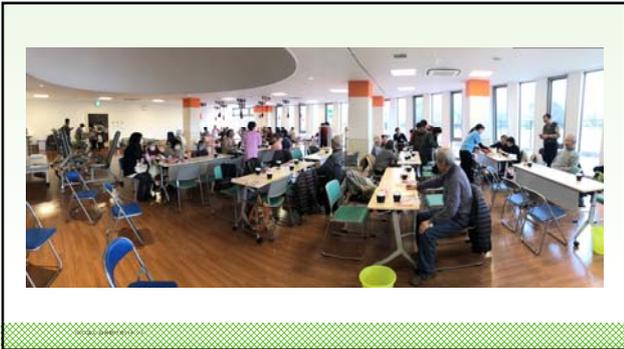


各サロン風景

さつきの里

サロンさつきの里







ウィズホスピタル

サロンウィズホスピタル



# リハモードヴィラ白井

サロンリハモードヴィラ白井



## 今後の活動展開について

※この図は、目録欄のページ番号です。

### 1. 福祉の増進を図る活動

**市高齢者福祉課**—社会福祉協議会との連携

### 2. **市民活動支援課**—地域住民交流の場を作る活動

(ネット事業部として推進)

**(1) 介護施設連携型サロン**

**(2) 地域貢献企業連携型サロン**

**(3) 飲食店連携型サロン**

**(4) 空家活用型サロン**

※地域活動型は特に市民パワーとの協働は必然  
のことで、他の市民活動団体との協力を図ること  
で活動の効率・拡大を目指します。

※この図は、目録欄のページ番号です。

ご清聴ありがとうございました。

NPO法人 白井助け合いネット

NPO法人 白井助け合いネット

# 6

団体名	特定非営利活動法人しろい環境塾		
事業名	四季の花・植物で里地里山を彩る市民活動による環境保全		
事業概要	白井市北東部の平塚地区及びその周辺地域である、金山落から手賀沼にかけての地域の川・沼沿いの道路及び休耕畑・水田を活用して景観植物・景観作物の栽培と環境整備を行い、次世代へのより良い環境の継承、やすらぎのあるまちづくりに寄与する。		
補助事業費 総額	339,620円	補助申請額	250,000円

# 四季の花・植物で 里地 里山を彩る市民活動

NPO法人しろい環境塾

## 事業報告 1

### 1. 事業実施の理由

しろい環境塾は平成13年の設立以来、平塚地区を中心とした地域の里地里山の整備・保全を行ってきたが近年農業者の高齢化及び後継者不足により、耕作放棄地・休耕地が増大し、農業活動を基本とした美しい里地里山の景観が失われつつあり、危機感を感じていた

### 2. 事業概要

白井市北東部の平塚地区及びその周辺地域である、金山落から手賀沼にかけての地域の川・沼沿いの道路及び休耕地・水田を活用して景観植物・景観作物の栽培と環境整備を行い、次世代へのより良い環境の継承、やすらぎのあるまちづくりに寄与する

### 3. 実施体制

しろい環境塾会員及び公募の一般を主体として活動

美しい手賀沼を愛する市民の連合会と協同

平塚協議会（平塚の農家及び市民有志）と協働し、地元と連携

### 4. 告知方法

広報しろい、地域の新聞・折込チラシに活動内容・活動日を掲載し、参加者を募集

しろい環境塾のホームページに活動予定を掲載し紹介

## 事業報告 2

### 5. 事業実施中の課題等

年間スケジュールに基づき、参加者を募集したが、応募者が少なく、しろい環境塾の会員及び家族を中心とした活動に留まった

対応策として、当塾の他のイベント・行事で紹介し参加者を募集した

### 6. 事業成果等

しろい環境塾では従来から、季節の花の栽培・手入れを行ってきたが、地域を広げ景観植物・景観作物の栽培の広がりを実施できた

特に、カンナ街道のカンナの栽培については、平成30年度に、地元自治会等が行う白井市沿道みどりの推進事業のカンナ街道の復活の団体活動につながるようになった

しろい環境塾の会員有志も団体を作り、同活動に参加する

### 7. 今後の展望

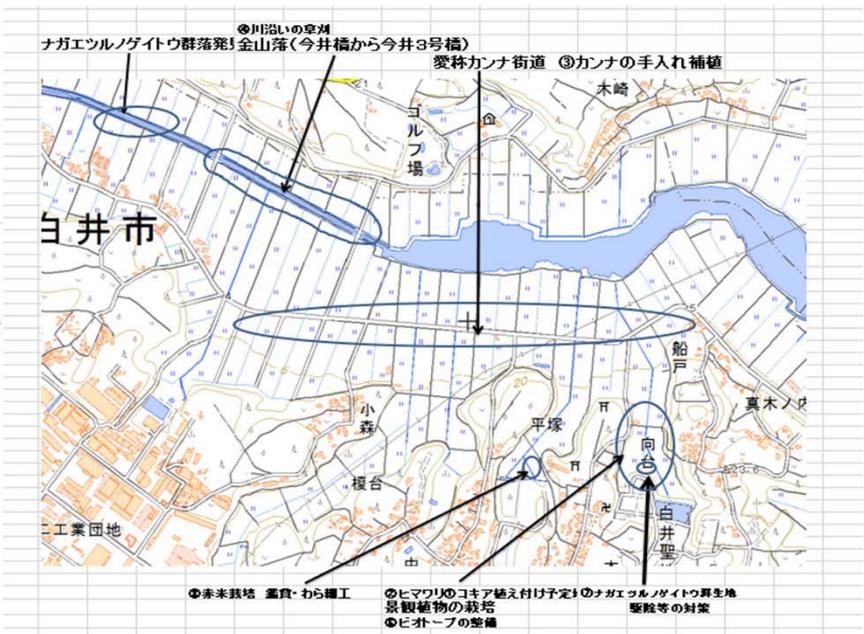
市民団体活動支援補助金により栽培した植物の種・株を有効活用していきます

又、同補助金により購入できた、草刈り機等を有効活用し、環境保全活動を継続します

## 事業の内容 主な活動

1. コキアの栽培
2. ひまわりの栽培
3. 綿の栽培
4. カンナ街道のカンナ復活の試行
5. 金山落の川沿いの道路の草刈り・清掃
6. 特定外来植物「ナガエツルノゲイトウ群落」の生育場所確認
7. 古代米（赤米）の栽培 景観の美しさ しめ縄作り
8. コスモスの栽培
9. 四季の里山の花・風景の写真パネル作成と展示

# 活動エリア



左上 ナガエツルノゲイトウ群落 右上 赤米（神丹穂米）の実り  
 左下 休耕田のヒマワリ 右下 カンナ街道のカンナ



# 7

団体名	ときめきマルシェプロジェクト		
事業名	ときめきマルシェ		
事業概要	市民が主体となって、市との協働により、白井総合公園にて、年2回、ときめきマルシェを開催します。		
補助事業費 総額	528,000円	補助申請額	200,000円

# 平成29年度市民団体活動支援活動発展型補助金活用団体 ときめきマルシェプロジェクト 事業報告

平成30年 6月 5日

## (1) 事業目的

### ①事業を実施することになった理由・背景

平成27年度に白井市役所が社会実験として実施したマルシェを前身にしています。  
マルシェとはフランス語で市場のことを表しており、出店者と顧客が商品をはさんでふれあいながら売り買いをしているその場面が想像しやすいことから、近年は国内の多くの地域で交流イベントとして開催されており、手作り品などの販売が盛んに行われています。  
社会実験の目的は、人口減少に伴う地域衰退を防ぐための若い世代の定住・にぎわい・拠点づくりを実現することでした。



市による社会実験を市民団体活動の形で引き継ぎ、マルシェ開催を通じて、魅力を感じるまちづくりの一助となることをミッションとして活動を継続していくことになりました。

主な動員対象を30代・40代の子育て世代の女性とし、対象者が魅力を感じるようなおしゃれなイメージのイベントをこころがけています。  
こころときめかせるような交流ができる機会や場の提供ができるよう、事業を展開しています。

### ②事業実施前に考えた目標

にぎわいづくりを目的としている事業のため、集客数が3,000人規模のマルシェを目標値に設定し事業展開を検討しました。  
また、事業の継続性を高めるため、平成30年度には補助金を利用せずに活動ができるような独立性を持つことを目標として定めました。



## (2) 事業の内容

### ①事業の具体的内容

#### ・第3回マルシェ開催

平成29年 5月14日(日) 白井総合公園、67店舗出店、3,000人来場

#### ・第4回マルシェ開催

平成29年10月28日(土) 白井総合公園、90店舗出店、5,500人来場

上記2回のマルシェのため、出店者募集、審査、SNSでの出店者紹介、出店料回収、開催場所確保、必要備品準備、各機関申請手続きを行いました。

マルシェの開催形態は、キッチンカーエリア、フードエリア、ベジタブルエリア、ワークショップエリア、ワークショップエリア、グッズエリアに出店者が各自テントを並べ販売するというものです。

自主出店として白井産トマトすくい、綿あめ販売、フェイスペイントを実施しました。

②事業を実施した体制・事業に関わった人数や体制・協力・連携した外部の組織や団体等  
 スタッフ15名で実施しました。

流山市DJ集団「おとえん」に出演交渉し、会場音楽の協力を得ました。

③告知方法・・・事業の周知・啓発・PR方法

ときめきマルシェホームページ、Facebook、twitter、Instagram、LINE、  
 地域新聞、千葉県観光サイト、ラーベネット、千葉テレビ、市内公共機関ポスター掲示で告知しました。

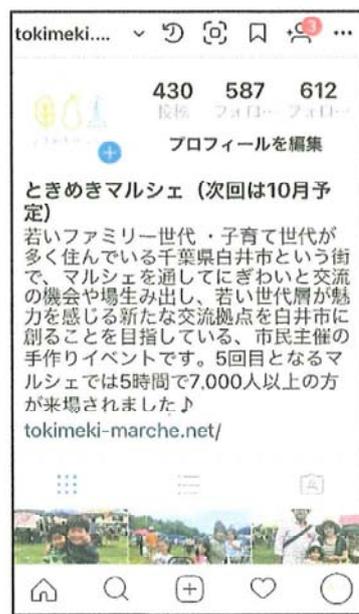
また、ターゲットとした子育て世代に情報が行き届くよう、市内の小学校・保育園・幼稚園にはチラシを配布しました。



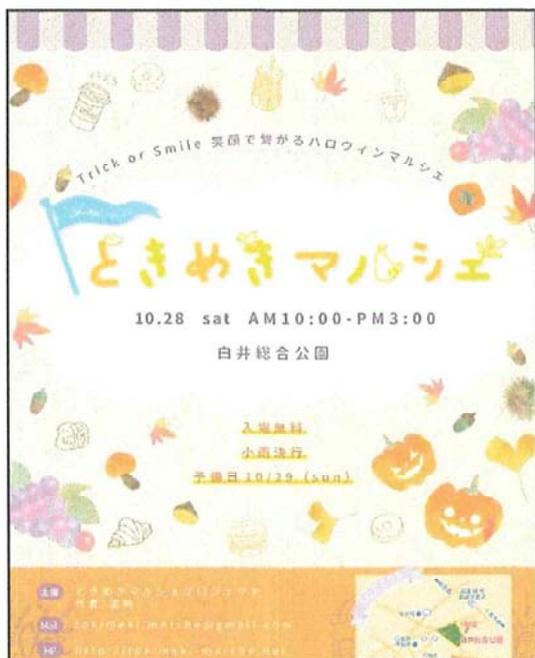
Facebook



twitter



Instagram



チラシ (左:表 右:裏)

補助金をチラシのデザイン代、印刷代に使用し、子育て世代に

魅力ある広報活動を展開しました。

### (3) 事業実施中におきた問題とその対応策

出店数が予想をはるかに上回ったので、出店者の情報を誤って告知しないよう、慎重な確認が必要となりました。

2重3重に情報を照合し確認して、出店者情報が正確に伝達できるようにこころがけました。

### (4) 事業成果と今後の課題

#### ①事業を実施して得られた成果、効果、良かったこと

事業内容の項目でも触れましたとおり、回を重ねるごとに出演者数・来場者数が確実に増加しております。

また、前述のようにSNSを利用したことにより、広範囲にわたる広報活動が可能となっていて、市外にも徐々にイベントの知名度が上がっています。

10月に実施した第4回マルシェでは、90店舗の出店者のうち、白井市内の出店者が15店舗あったのに対し、千葉県内他市から68店舗、他は東京都3店舗、茨城県、埼玉県、神奈川県、愛知県から各1店舗の参加があったことから、SNSでのマルシェ告知が広範囲に効果があることがわかります。

また、補助金を使用して、チラシのデザイン外注を試みました。他のマルシェに出店していた子育て中の女性にデザインを依頼、対象層である30～40代の子育て中の女性が魅力を感じるチラシを作ることができました。

チラシをデザインした女性が出店することやプロフィールもSNSで告知しており、子育て中で忙しい中でも多様な女性が活躍できるマルシェであることをアピールできたことは、マルシェの企画段階においても、同じ境遇の女性にとって心ときめくようなイベントであることを十分にアピールできたものと思われまます。

#### ②今後の課題

出演者数・来場者数が増加していくにつれて、出店審査や当日の管理運営の仕事量が増加し、今のスタッフ人数では対応が難しくなっています。今後、外部委託できるだけの経済的体力をつけ、仕事量に見合った人員配置ができるよう、事業運営の採算性を十分に検討していく必要があると考えています。

### (5) これからの展望

#### ①平成30年度以降の事業継続の見通しや事業発展の構想

今後もマルシェの開催を継続し、「いつものまちでちょっと違った日曜日」という、ときめきマルシェの当初からのテーマを活かしてまいりたいと考えています。

また、白井に住む人にも訪れる人にも、魅力ある「ときめきとみどりあふれる快活都市」を心に刻むことができるような事業展開をこころがけてまいります。

そのため、次のような活動の柱を提示し、プロジェクト一同取り組んで参りたいと考えております。

1. **新鮮なときめきのため常に挑戦を続けていくこと**
2. **誰もが笑顔で過ごせるマルシェづくり**
3. **白井から発信し続けることに誇りを持って取り組むこと**

ターゲットであります子育て世代の助成が魅力を感じるようなおしゃれなイメージを失わず、スタッフの多様な能力の組み合わせによる科学反応を起爆剤とし、ますますときめくようなマルシェを作り上げて参ります。